

合併号

日刊自動車新聞

The Paper

2026年
(令和8年)
9月17・24日号

発行所 日刊自動車新聞社 〒105-0012 東京都港区芝大門1-10-11 芝大門センタービル3階 TEL. 03-5777-2251 (代表) https://www.nikkanjd.com ©日刊自動車新聞社 2025

2026年(令和8年)9月17・24日号

日刊自動車新聞

(6)

特集

J-BAC認定 アルコール検知器



2023年12月から一定台数の白ナンバー車(非営業/自家用車両)を保有する事業所を対象に「アルコール検知器を使用した運転前後の検査」が義務付けられている。数多くある製品の中から、どのような製品を選べばよいのか、頭を悩ます事業者は多いのではないだろうか。

アルコール検知器どれを選ぶ？

第三者機関が品質認証

アルコール検知器メーカーから59社(26年7月時点)でつくる「アルコール検知器協議会」(J-BAC、酒井規光会長)では、第三者機関による高い品質・精度を持った機器を認証する「アルコール検知器認定制度」を運用展開することにも適切な使用方法に対する普及啓もうに取り組み、これからアルコール検知器を導入する事業者にとって「J-BAC認定アルコール検知器」は間違いない選択肢の一つとなりそうだ。

「間違いのない選択肢」の一つ

安全運転管理者制度における管理者の選任が必要となる。管理者には視察と検査器による酒気帯びの有無の確認や検査実施と計測結果の記録(1年間)が求められる。酒気帯び運転で検挙された場合、数値によっては3年以下の懲役、または50万円以下の罰金が科せられる。何よりも尊い人命を守る観点からも間違いのない確実な検査を実施できる体制づくりが急務だ。

業務効率を阻害してしまふことも想定し得る。確実な検査を実施するため、信頼性の高い検知器を導入することにも、その定期的な買い替えが必要だ。

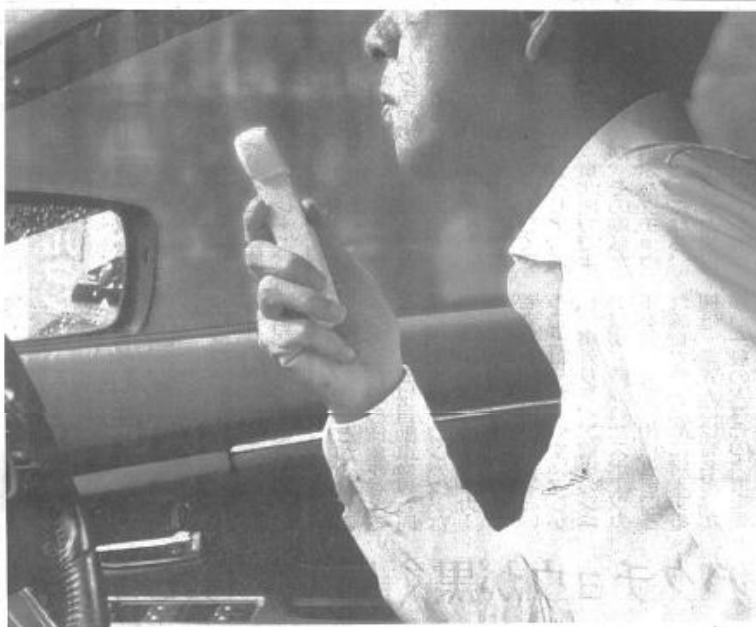
J-BAC認定検知器は、J-BAC会員メーカー事業者製であることが条件。そしてメーカー事業者に課す入会条件は「国内自社拠点に品質管理が行える施設を保持」し、「販売時やメンテナンス時に適切なアドバイスが行えること」としている。そのハードルは高く、機器の信頼性の高さを裏付ける。

安全運転管理者制度における計測結果の記録について、手書きでも可能だが、業務効率の観点から管理システムを導入を検討する事業者は多い。J-BAC会員メーカーの検知器もシステム連携を前提としたものが多く、管理システムそのものも提供している。

こうした品質重視の思想はアルコール検知器にも受け継がれている。製品は温度・湿度が管理された専用施設で製造され、徹底した品質管理のもとで出荷される。アルコール検知器はセンサーの経年劣化を避けられない。同社では鮮度管理が重要な「なまもの」と位置付け、購入後1年または2000回の使用を上限として、追加できる機能。追加したチェック項目がスマホアプリ画面とPC管理画面の両方に表示される。音声入力も可能で、測定日から400日間保管する。

同社事業推進本部アルコール検知事業グループ

確実に高い信頼



白ナンバーに対するアルコール検査義務化の動きは21年8月、千葉県八街市で発生した「八街児童5人死傷事故」に端を発する。白ナンバートラックドライバーによる飲酒運転で、未来ある子どもたちの命が一瞬で奪われた痛ましい事故として記憶に新しい。

足元では今年9月から生活道路における上限速度が時速30kmに定められるなど交通安全に対する社会的機運は高まりをみせている。飲酒運転根絶に向けた車両を使用する事業者に対する社会的要請もまた今後ますます大きなものになりそうだ。

同社の創立は1934年、自動車産業をはじめとする製造業向けに設備を供給する企業として、品質とものづくり技術を磨いてきた。

「こうした品質重視の思想はアルコール検知器にも受け継がれている。製品は温度・湿度が管理された専用施設で製造され、徹底した品質管理のもとで出荷される。アルコール検知器はセンサーの経年劣化を避けられない。同社では鮮度管理が重要な「なまもの」と位置付け、購入後1年または2000回の使用を上限として、追加できる機能。追加したチェック項目がスマホアプリ画面とPC管理画面の両方に表示される。音声入力も可能で、測定日から400日間保管する。」



CAX-AD150 CAX-AD300

アルコール検知器 CAXシリーズ
JVCケンウッドのJ-BAC認定アルコール検知器「CAXシリーズ」は3モデルをラインアップし、機能性、利便性、コスト面など、多様なユーザーニーズに応える。
ハイエンドモデルの「CAX-AD300」は電気化学式センサーを採用、使用回数は1万回で、シリーズ中もっとも高い耐久性を備える。
サイズは160×55×30mmと携帯することも可能だが、複数での使用が想定されており、導入事業者の間では据え置き型として利用しているケースが多いという。

「CAX-AD150」は半導体ガスセンサーを採用、使用回数は2000回としており、主に個人での保管・使用を想定したモデル。
使用期間・回数をカウントすることで使用期限が近づいた検知器個体の情報を知らせる機能も備わる。さらに管理項目が充実した他



再生事業センターの様子。出荷前のセンサーチェックも実施する

KENWOOD CAXシリーズ 株式会社JVCケンウッド 神奈川県横浜市 神奈川区守屋町三丁目12番地



DRACHE(ドラチェ)アルコール検知器

新東工業のアルコール検知器はJ-BAC認定機器のなかでは最小、最軽量で、キーホルダーとして自宅や車の鍵に付けて持ち運べる。スマートフォンに有線接続し使用する仕様のため、充電などの手間が省けるなど利便性の高さが好評を得ている。

温度・湿度管理・鮮度管理が徹底された環境のもとで製造。最小、最軽量ながら高い信頼性を発揮

検知器のサイズは60×27×12mm。重量は12g。センサー方式は半導体ガス式を採用。最小、最軽量ながら、その精度



sinto

と品質の高さは折り紙付きた。同社の創立は1934年、自動車産業をはじめとする製造業向けに設備を供給する企業として、品質とものづくり技術を磨いてきた。

「こうした品質重視の思想はアルコール検知器にも受け継がれている。製品は温度・湿度が管理された専用施設で製造され、徹底した品質管理のもとで出荷される。アルコール検知器はセンサーの経年劣化を避けられない。同社では鮮度管理が重要な「なまもの」と位置付け、購入後1年または2000回の使用を上限として、追加できる機能。追加したチェック項目がスマホアプリ画面とPC管理画面の両方に表示される。音声入力も可能で、測定日から400日間保管する。」

同社事業推進本部アルコール検知事業グループ